CONTENTS

6 月定例会

■議案を審議 ・・・・・・・・・・ 3~5
第2回 三木町議会定例会
■一般質問 ······ 7~14
7人が登壇・町長に見解を求める
■委員会レポート 15~16
■元気なグループ紹介 18
「三太茂博士記念資料館を守る会 会長 佐々太 信行

議会が大町



泥んこ綱引き

白山小学校 泥リンピック



おりゃー!負けないぞ





・レスによる6月定例会

般会計補正予算の主な内容 (第2回定例会)

住民税非課税世帯に対する 臨時特別給付金給付事業	3,407万円
子育て世帯生活支援 特別給付金給付事業	1,500万円
再生可能エネルギー導入 戦略策定事業	201万円
自宅療養者等生活支援扶助事業	2,290万円
町有施設のトイレ等改修事業	8,544 万円
農業者収入保険制度支援対策事業	200万円

一般会計補正予算(第1号)										
補正前の金額	112億1,300万円									
補 正 額	2億2,779万円									
補正後の金額	114億4,079万円									



支給の世帯に10万円を支給、 ンプ自動 令和 審議 CT化事業、公民館などのトイレ洋式化等一般会計補正予算。固定資産評価審査委員会委員の選任の議案。 新型コロナウイルス感染症陽性者の家族等自宅待機者への食料品等支援、 4 内容は、 車2台、 年6月定例会は、 公共下水道工事請負 平井小学校スクールバスー台の取得議案。 1 また、 日から9日間の会期で開催された。 |変更契約の専決処分を含む報告6件。 低所得者の子育て世帯に対して児童1人あたり5万円を支給する事 住民税非課税世

災害対応特殊車を含む消

防 未 术

帯等で臨時特別給付金が

農村公園施設整備、

学校の

更にタブレット導入により会議録の配布を中止する議会会議規則を改正する発議案を可決した。

防災行政等で執行部の見解を求めた。

般質問ではフ人が登壇し道路行政、

6 定 例 숲

専決処分の報告

生じたものである。 変更により契約金額に増減 布設推進工事請負変更契約 水道南部地区池戸21工区管渠 布設工事請負変更契約 水道中部地区平木10工区管渠 第 2 号 第 1 両議案ともに、 令和3年度公共下 令和2年度公共下 工事の工法 が

財産の取

取得価格 配備場所 ポ 第 1 ンプ自動 号 (高松市消防局三木 4, 車 災害対応特殊消 708万円 防

取得価格 分団第1 配備場所 第2号 部屯所) (三木町消防団第2 2, 消防ポンプ自動 959万円 車 消防署)

配備場所 取得価格1, 第 3号 (三木町立平井小学 スクー 581万8千円 ル バ ス

専決処分の承認

第4号 部を改正する条例 三木町税条例 等

0

個人住民税

(1)住宅ローン控除の特例の 長及び控除限度額の見直 延

2 (1) 所得 500円とするもの。 額等の5%、 適用期間を4年間延長 税 の 課税総所得 最高9万7, 金

不要•. 税の、 能であるが、 (2)ことに改正。 方式を所得税と同一にする る E 課税方式の見直し 得税の課税方式は、 場株式等の配当所得に係 ٧١ 総合課税 • 申告分離課 ずれの方式も選 個人住民税の課 沢可 申 ·告

固定資産税

まで2年間延長する。

(1) 土地 例措置 に係る 固定資産税 の特

半 宅用地、 5%を2・5%とする。 行どおり) に -減させる措置を講じ、 係る課税標準額の上昇幅 令和4年度に限 農地等については り商業地 現行 住 現 を 等

(省エネ改修等を行った住) に対する措置 宅

(2)

①省エネ改修工事を行 措置の拡充及び縮小等。 存住宅に係る税額の減 った

P 平 存していた住宅とする。 適 ・成26年4月1日以前に 用 対象となる住宅 を、

イ 引き上げる。 上 50万円超から60万円超 するため、 ょ り良質な改修に 令和6年3月31 イの措置を講じた 工事費要件を 誘導 に 日

> ② 耐 年3月31日まで2年間 置の適用期限を、 長する。 係る固定資産税の減額措 震改修を行った住 令 和 6 宅 延 に

③バリアフリー改修を行 年間延長する。 令和6年3月3日 た住宅に係る固定資産税 の減額措置の適用期限を、 まで2 つ

例 険税条例 第5号 の 一 三木町国民健 部を改正 する条 康 保

次のとおり引き上げる。 礎課税額に係る課税限度額 保険者の負担軽減のため、 性の確保及び中間 国民健康保険税負担 所得層の被 の公平 を

医 療給付費等分」

介護納付金分」 後期高齢者支援金等分」 19 万円→20 63 万円→65 変更なし 万円 万円

般会計補正予質

来を中心に、50事業が提案さりイルス感染症対策に係る事業を中心に、50事業が提案された。

記する。が、以下、特徴的な質疑を列が、以下、特徴的な質疑を列疑を経て原案どおり可決したり名の議員による活発な質

二木いちご着らし事業

問 市原議員

当初予算での想定は困難か。財源補正となっているが、

資 政策課長

を得ない。

多までは、一般財源とせざる
第化するが、採択の内示があ
国の補助事業を見込んで予

再生可能エネルギー導入

世安部議員

なった理由は。正で国支出金がその他財源と戦略策定事業の内容と、補

答 環境下水道課長

っている。

2050年カーボン排出ゼ
のである。当初、環境省の直接補助となり、一部事業の前接補助で予定していたが、間接補助で予定していたが、間

辰村公園整備事業

追中川議員

洋式化を含めた改修内容は。ているが、トイレの水洗化・相な増額となっまに、大幅な増額となっまに、

答農林課長

当初予算では、平木農村公財策交付金の活用が可能となり、4か所の農村公園を対象り、4か所の農村公園を対象として、一部建物改修を含めた補正予算とした。



▲平木農村公園

学校への連絡用アプリ導入

岩安西議員

るのか。と他市町間との連携をどうすが示されているが、その理由対象とした連絡用アプリ導入対象とした連絡用アプリ導入がまといるが、のでは、保護者をできます。

全教育総務課長

者との連携を強化するもので所・幼稚園・小中学校で保護との改善を含め、町内の保育学校間で統一されていないこ現在、出欠連絡用アプリが

との調整はできていない。ある。なお、現段階で他市町

通信機器のアップデート等

10 友保議員

合などの教育対策は。るが、学校が休校となった場通信機器整備が補正されていコロナ対策として、各種のコロナ対策として、各種の

か。 費用は通年的に必要となるのまた、機器のアップデート

答 教育総務課長

で、 教育内容を豊富にし、 報配信内容を録画して再活用 型コロナ等で休校となった場 を高めるものである。 できるようにするものであり、 合を含め、 っている。 GIGAスクール事業の 各種の通 その時々の教育情 今回の補正 |信機器整備を行 利便性 は、 新

要なものではない。
したものであり、通年的に必は、更新が予定されるものをは、更新が予定されるものを



発議案第1号

追

加

を改正する規則の制

定 則

三木町議会会議

規

0)

部

会議録

の ν

配布を中止 ットの導入に

すること

ょ

り、

タ

ブ

に

つい

て議会会議規則の改

正

一致で可決した。

は慎重に行うべき。 機器であり、 か 置されているが、 問 なものも見られる。 部施設の玄関先などに 鈴木議員 購入等におい

高額 の不確

な

7

生涯学習課長

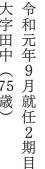
とする。 の徹底など、 る性能の指定とともに、 発注段階で、仕様書等 信頼できるも 検 に 査 ょ

> 境 勲氏 「の選任に同意した。

性能

固定資産評価審査委員

大字田中 (75 歳)



請願・陳情のゆくえ

令和4年3月10日受付

(要望書) 貴自治体の福祉施設や教育施設において、ゲノム編集トマトの種苗を 受け取らないでください 種子を守る会香川 代表 佐久間 雅子

令和4年3月22日受付

新型コロナウイルス政策の抜本的変更とコロナワクチンの小児(5歳~11歳)への 接種と3回目ブースター接種の即時中止に関する陳情書 塩田 智和

令和4年3月25日受付

(陳情書) 女性トイレの維持及びその安心安全の確保について 女性スペースを守る会 - L G B T 法案における『性自認』に対し慎重な議論を求める会 - 共同代表 飯野香里/井上恵子/永田マル/山田響子

令和4年4月11日受付

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情 海事振興連盟 会長 衛藤 征士郎

令和4年5月20日受付

沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情 辺野古を止める!全国基地引き取り緊急連絡会 代表者 福本 圭介

令和4年 第2回定例会 提出議案への各議員賛否表

○賛成 ●反対 一議長 欠(欠席)

Ē	義案番号・議案名	採決	昌	陽	西	和	本 晃	部 正	原信	木宏	小島重俊	博	田修	渡辺達実	_		
	第2回定例会																
議案第1号	財産の取得	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	欠
議案第2号	財産の取得	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	欠
議案第3号	財産の取得	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	欠
報告第3号	三木町土地開発公社の経営状況を説明する 書類の提出	承認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	欠
報告第4号	繰越明許費繰越計算書(一般会計)	承認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	欠
報告第5号	繰越明許費繰越計算書 (農業集落排水事業特別会計)	承認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ı	0	0	0	欠
報告第6号	繰越明許費繰越計算書(公共下水道事業特別会計)	承認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ı	0	0	0	欠
議案第4号	専決処分の承認 (三木町税条例等の一部を改正する条例)	承認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	欠
議案第5号	専決処分の承認 (三木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	欠
議案第6号	令和4年度三木町一般会計補正予算(第1号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	欠
議案第7号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	欠
発議案第1号	三木町議会会議規則の一部を改正する規則の制定	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	欠

富田修司	鈴木宏明	筒井米市	桑井明人	西丸一明	渡辺達実	脇博文	小島重俊	市原信夫	安部正雄	森本晃司	中川和樹	安西進	友保陽子	岡昌吾	議員氏名	○は出席・		議員	第2回定例会
0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6/1	は半欠	全	世	
0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6/7	火 × は	会議	义美	6月)
0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6/9	欠席	のみ〉	TX	

ここが聞きたい!

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、 町民の声や自身の考え方をもとに町長や教育長などの 方針を問うものです。



1人60分の制限時間。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。 詳しい内容については、インターネット中継をご覧ください。

質問者	質問事項	ページ
脇博文	1 高齢者に給食サービスを 2 防災行政 3 道路行政	8
中川和樹	1 PTA連絡協議会事務局は教育委員会に設置すべきでは2 観光資源の活用3 消防団の環境改善	9
安部正雄	1 白山遊歩道の損傷が著しい 2 自治会の現状 3 町道管理などでアプリ活用は	10
市原信夫	1 法人化された観光協会の今後の活動は2 中心市街地にパークレットを3 児童福祉の充実を	11
渡 辺 達 実	1 ウクライナへの人道支援を2 子どもの医療費無料制度3 放課後児童クラブの運営	12
小島 重俊	1 「道路愛護団体」の活性化が必要では 2 町職員の採用計画 3 鳥獣被害対策	13
友 保 陽 子	1 学校体育施設整備等の充実を 2 防災行政	14

問 高齢者に 給食サービスを

必要性を慎重に調査研究する



脇 博文議員

帯の方に、給食サービス等の

問

75歳以上の高齢者で、

問

光ケーブルはいつ頃、

Ξ

人暮らしや、

高齢者のみの世

木町全域をカバーできるのか。

支援や見守りを。

福祉介護課長

考えている。 に調査研究することが必要と して担うことの必要性を慎重 給食サービス事業を行政と

Q 7 9

国で99・9%の世帯に普及さ

までに、

光ファイバ回線を全

マとして

国において2027年度末

政策課長

せることが示されている。

防災行政

実証実験は。 るアプリ「避難スイッチ」 難してください」と通知がく 準の水位を超えた場合、 グを設定しておくと大雨で基 問 事前に避難するタイミン 避

ICTを利用できる人と

問

が生まれている。 できない人の間に、 高齢者にスマホ教室を。 政策課長 情報格差

する。 住民に寄り添った施策を推進 デジタル社会に対応すべく、

・ドは。

参事兼総務課長

引き続き、 グを決めていただけるよう、 あらかじめ避難するタイミン 平時から災害に備えるため 周知・啓発する。

からぶら下げる災害・ どが記載できる、 緊急時の連絡先や持病な 避難時に首 避難

舗装修繕工事を発注した。 補修対応をしたが、 再度、

土木建設課長



▲破損した広野津柳線

検討する。 会で、取り組むテー 自主防災力レベルアップ講習 香川県防災士会の協力を得て、 否確認にも非常に有効である。 災害時には、 避難行動や

道路行政

ある。 る町道・広野津柳線の補修をの 大きくへこんでいる所 産業廃棄物運搬車が通いさくへこんでいる所が



参事兼総務課長

安

和樹議員 中川

地

域の魅力をSNS等で継

地域活性課長

づくりや、ビジネスに取り 域資源を活かしたコンテン 的に情報発信することや、

問 町PTA連絡協議会事務局は 育委員会に設置すべきでは

の経緯や活動を踏まえ 研究していく 調査

事 教育長

と考える。 果たしている。また、 報活動、 や調査研究、 情報発信が活性化されるも の改善に向けた取組等の成果 の改善に繋がる重要な役目 の活動の研究や、 究していく。 り方なども踏まえ、 検証しつつ、PTA活動の 断的な課題に対する提 務局の持ち回 生活補導、 今後は、 会員の研修、 自校 りは、 教育関係 情報交換 学校 調 0 言や 活 査 他 広 0

> 策に取り組 組 む 担 い手の育成 んでい 確保 0 施

えは。

局のあり方について本町の

問

町 P T

A連絡協議会事

務

頂公園の活用は。 問 観光資源である高 仙 Щ

山

農林課日 長

未だ、 せていない。 補助金返還の対象となるため 外使用、 費用が発生する。 地形条件から、 有効な活用策を見 施設撤去については 多額の また、 用途 いだ

つつ、地域資源である高仙 有効活用を考えていく。 今後は、 社会情勢を見守 Ш



組んでいることは。

問

地域活性化のために

取り

観光資源の活用

▲高仙山山頂公園の案内板

参事兼総務課

進めるとともに、 線機の操作訓練を実施予定。 を実施するなど、 無線機の操作方法の講 周知徹 定期的 に 底 習 無 を 会

消防無線の繋がりにくい

う引き続きサポート 環境での今後の対応は。 問 また、必要に応じて無線 消防活動が円滑に行える 参事兼総務課 長 し て いく く。 機 ょ

消防団の環境改善

るべきでは。 問 女性消防団 [員組織をつく

参事兼総務課 長

めざして、 ながら、女性消防団員確保 活動を調査研究し、 他 の自治体の女性消 協議して 参考に いく。 防 寸 し を の

消防団員に対する無線

問

の講習は。



の仕様や運用方法を見直

す

適宜、

検討していく。

問 白山遊歩道の損傷が 著しい

答

補修を行い、利用者の 安全確保に努める



安部 正雄議員

多くの住民が利用する白山の

問

日

々健康増進のために、

自治会の現状

設立

自治会の強化

P

地

課題の解決に取り組

んできた。

今後、町内全域で、

自治会

遊歩道が、長年の風雨によっ

問

自治会への加入は任

る。加入してい 住民の加入率

等に関するアンケー

· ト調査

を

て土が流れ、著しく損傷して

いる。

安全対策が必要では。

生涯学習課長

利用されている。
グコースとして、多くの方に遊歩道は、身近なトレッキン

る。 しかし、整備から20年以上 しい箇所は、逐次補修を行う しい箇所は、逐次補修を行う とともに、利用者の安全確保 とともに、利用者の安全確保



▲土が流された階段

地域活性課長

、「まちづくり協議会」を田中地区をモデル事業とし

果を踏まえて、

調査研究する。

つながることから、

費用対効

今後は、

業務の効率化

に

b

地域活性課5

ないことで支障は生じるのか

くり施策を検討する。

自治会支援等のまちづ

が低下している。あるが、最近、住

自治会は、地域コミュニテ を担うとともに、地域の課題 を担うとともに、地域の課題 に協働で取り組み、安心安全

障は出ていないと考える。無による町政や住民生活に支無状では、自治会加入の有

アプリ活用は町道管理などで

では。ことで、迅速に対応できるのって、管理者(町)に伝えるがスマートフォンアプリを使がスマートフォンアプリを使いる。

答 土木建設課長

る。 導入している。 この「住民投稿サービ 243キロメートルに及ぶ 前登録者から情報を受け テム」は、 が 管 理 全国の27自治体 する 高松市では 道 路 スシス は て 事



中心市街地にパークレットを

会が

般社団法人となった。

問

今年4月、三木町

観

光協

フォー

ムとなり、観光及び産

を

具

「事業者をつなぐプラット

信夫議員 市原

問 法人化された観光協会の 今後の活動は

町

は観光協会に、

町

職

員

在的魅力を見つけ、 情報発信していきたい

地域活性課

を活用した情報発信、 開 の4事業に取り組 な観光資源 ンテナショップで特産 催、 に 愛媛せとうち旬彩 だぎわ ホームページやS 12 の調査・開 い創出イベ L む。 て ン 品 館 発 潜 在 N ト る 事 0 0) S P 業 的 販 0)

京都 出 店 い

ハウ・ 新たに採用した専門的 起業人、 の計3人を派 (に取り組んでいきたい。 効果的な観光振興 知見をもった地 地域おこし協 造し、 Rな ノ ウ (と産 連 域 渡し 力隊 活性



るのか。

町はどうかかわって

体的には、どういうことをす 事業目標にあげているが、 業の地域資源の有効活用」

いくのか。

▲にぎわいつくりが課題の文化交流プラザ周辺地区

できるのではないか。 ホールを、 したらどうか。 気楽に集えるパークレットに 路に椅子、 町の中心市街地。 問 文化交流プラザ周辺 カフェにすることも テーブルを設置し サンサン館みきの エントランス 空き地や道 は

地域活性課長

場づくりとして注目を集 歩道が狭く、 パ 1 ク レッ 文化交流プラザ周 \vdash 周辺 は、 の町 賑 わ め 有 *۱* ر 辺 7 0

する研修や定期的なアン

ケ

ト実施にも努めていく。

て使われており、 トにするのは難し マ ル シェ や臨時駐 ۱۴ 1 車場とし ク ツ

生涯学習課長

も多い。カフェ 設は難しい。 流プラザエントランスホ サ 貸館スペ ンサン館みきと違 ースで、 やソファの 利 用 1 者 ル 交

児童福祉の充実を

の 社会情勢にどう対処していく アラーなど子どもを取り巻く にしているが、 子化の中、子育てを国家課題 家庭庁」を設置するなど、 か。 国は来年4月、 町はヤングケ こぎ 少

教育長

見守りを続けていきた 策地域協議会との連携 護については、 教職員 要保護児童の のヤングケアラー 早期発見 要保護児 ٧١ の 中 童 • 対 保 に で

ウクライナへの 人道支援を

ができる支援策を 講じていく



渡辺 達実議員

囲丁

な行為が報道され心が痛む。 に虐殺されるなど、非人道的 くのウクライナ国民が無差別 シア軍の侵攻により、 多

ウクライナへの人道支援を町 ができる支援策を講じていく。 は、 国や県からの要請があり次 町民から寄せられた救援 避難者の受け入れなど、 日赤を通じて救援活動

支援体制の充実を要望して

ともに、

引き続き、

玉

県の

庁舎内に設置している募金箱 に役立てられている。

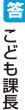
▲庁舎内の募金箱

ウクライナ 道危機救援金

ウクライナ

放課後児童クラブの運営

ら行われたが、 問 運営の民間委託が4月 現状は。 か



満の声は特にない。 施などスムーズな移行ができ 雇用継続した支援員の研修実 本年度は11教室を開設 保護者からの、 不安や不 L

子どもの医療費無料制度

護者アンケートを予定して

お

運営委託の効果の検証

らない。ウクライナへの

人道

支援を検討しているか。

問

ロシアの戦争犯罪は止ま

齢を、 しているか。 卒業年齢まで引き上げを検討 医療費無料制度の対 中学卒業年齢から高校 象年

答 こども課長

源確保を含め検討していくと 経費の増加が想定される。 高校卒業まで対象を広げると が助成し、無料になっている。 中学卒業までの児童 医療費の自己負担分を町 生 徒 財

ことを祈る。

一日も早く平和な日々が戻る

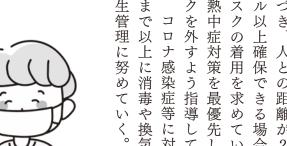
教育長

まで以上に消毒や換気など衛 クを外すよう指導している。 熱中症対策を最優先し、 スクの着用を求めていない。 ル以上確保できる場合は、 づき、人との距離が2メ 文部科学省からの コロナ感染症等に対し、 通 知 マス 1 に 今 基

教育行政の充実

行っていく。

のか。 用等どのように対応していく 染症対策として、マスクの 集団発生している。 問 コロナ感染症が学校等 コロナ感 着





重俊議員 小島

問 道路愛護団体」 性化が必要では

現制度の見直しを含めて検討する

ルトによる路面補修や歩道部

除草なども対象とするなど、

度として再編すべき。

新たな本町独自の助け合い

土木建設課長

の 一 助成しているが、 ており、 が現状である。 を母体とした18団体が登録 部地域に限られてい 道路愛護会」は、 町が活動費の一 山間部など 自治 部を る 0 し

含め、 支援のあり方等につい 路は370路線あり、 かな管理が行き届いておらず、 現在、 を進めたい。 案された作業内容の追 対象団体の加入促進や 町が管理して きめ V 加を る 細 検 道

そのものであり、

様々な地域

いに助け合おう」とする共助 道路愛護団体の活動は「お互 意識の醸成が求められている。

活動の基礎になると考える。

草刈だけでなく、レミファ

道は、

自分たちで守るとした

問

自分たちの住む地

域

の

▲雑草の生い茂った歩道

烏獸被害対策

聞き、

引き続き職場環境や

処

けられるよう、

職員の意見を

今後、

意欲を持って働

き続

く退職することは残念であ

遇の改善を図りたい。

町職員の採用計画

せない。 運営には退職者の補充が欠か 立っており、 問 行政はマンパワー 健全な町組織の で成り

農林課長

が隣接市町に比べて相当低 この原因は、 県や高松市に再就職している。 に中途退職者が3名も出て、 ことにあるのでは。 今年3月、 本町の賃金水準 定年退職者以外

副町長

職員が、 本町に志を抱いて就職し 定年まで働くことな た

取り、 る制度に改めるべきでは。 当の捕獲者負担がかかってい 傷しての補助金申請には、 捕獲した有害鳥獣を引き 有害鳥獣と言えども、 広域行政として処分す 相 殺

則とされている。 補助金を活用して 実績報告で現場での殺傷 する補助金は、 現状で、 有害鳥獣を捕獲した者に

玉

. 県 か 5

0)

対

おり、

そ が 原 の

ある。 きとした質問も行った。 を町が引き取ることは困 金」を農業者支援に活用 その 他、 捕獲した有害鳥 コ 口 ナ対策交付 難



学校体育施設整備等の 充実を

に取り組んでいく。

それぞれ

利用者からの要望を踏まえ、 整備・充実に努める



友保 陽子議員

ウンドが使えなくなり、

小学校の運動場で練習して

年団は、

香川大学農学部グラ

平井軟式野球スポー

· ツ 少

ネットに穴が開いており、 る。広さは問題ないが、

ボ

ルが幾度となく校外の用水

は。 トの改修はすぐにでも必要で また、スポーツの推進を図

うという点からも、

防球ネッ

ている。安全にスポーツを行 路に落ち、児童が取りに行っ

ほしいという声もある。 体育施設開放事業の一環とし イター っていくために、 整備を検討するべきでは 照明整備の検討をして 運動場にナ

生涯学習課長

次対応している。 所は現状を十分に確認し、 利用いただけるよう、危険箇 さらなる「スポーツの普及 まえた上で、施設及び備品等 一層の整備・充実に努め、 今後も、 利用者が、安全で安心し 利用者の要望も踏 7 逐

防災行政

▲平井小学校の防球ネット

問 くのか。 携して、 組織と防災士がどのように連 自治会等の地域自主防災 地域防災を担って

防災士の方には、 和3年までに33名にのぼる。 資格取得された防災士は、 活動はもとより、 本町の補助事業を活用 の地域に 被災現場 お 平時から いて、 し 令 圳 7

▲防災講演会



参事兼総務課

対しては、 識醸成を図っていく役割 いくことで、 には、アドバ んでいただくことをお 域防災力向上のために 活動が活発な自 それ以外の組織や地 積極的 自助 イザー的 に関 主防 • 共助 わって な役 願 災 取 を担 の意 域 組 ŋ に 割 組



て地域防災力向上に期待して

体制構築の中心的な存

在

とし 防災

っていただく等、

地域

の

建設常任委員

令和4年4月27日

防災減災対策

居住 険) 重要となる。 欠かせないものである。 や経路を判断にするときにも 同 地 マ マ たに町内のハザー ップは、 域の危険度を知る上で ッ プが作成された。 また、 災害発生時に、 避難方法 F 危

洪水ハザードマップ

が配布された。 ハザードマップ」 令 和 を追加した「三木町洪水 4 年3月に、 (保存版) 吉田 |||0)

めに、 備 況に応じた避難方法、 スクについて理解を深めるた えに関する情報なども掲載 マップには、 災害の発生要因 地域の災害リ 日頃 ₹ | 状 0

されている。

との説明があった。 位置も図示されていることか 浸水想定区域や、避難所等の また、想定最大規模の洪 各家庭で保存してほし 水

問 安部委員

るのか。 新川の改修工事による影響 同マップに加味されて

総務課担当

よる効果が、 流域については、改修工事に れている。 イパスの福万大橋か マップに反映さ ら下



問 中川委員

や流れ込む流入量を加味し ものにできないか。 同マップ更新時には、 雨 た 量

農林課長

を決めている。 の高さや余水吐の大きさなど 量や流出量を勘案して、 通 !常のため池改修では、 堤体 雨

を加味することは検討する マップ更新時にそれ

ため池ハザードマップ

行い、 が決壊、 としている。 防止や軽減を図ることを目 貯水量2万5千トン以 避行動を支援し、 ードマップ」が作成された。 カ所について、 同マップは、 町 内の防災重点ため池 自主的な避難や危険回 した場合の氾濫解 ため池 「ため池 被害の未然 の堤体 Ĺ 祈を ハザ の 40 の内 的

見を反映して作成したと 明 なお、 いがあった。 説明会を開催して、 事前に関係者住民 その意 0 説 لح

指導員配置促進事業」 ル構想事業」 れている。 イ・スクール事業」 G I G

すことなく、 な子どもたちを誰一人取り残 要とする子どもを含め、 ICTを実現することが目的 することで、 1人1台端末を一 層確実に育成できる教 特別な支援を必 資質・能力 体的 に 多 様 整 育 が 備

教育民生常任委員会

令和4年4月28日

まちづくり戦略

けた。 中で実施する事業の説 策の基本方針を「教育のまち 宣言」として具体的な施策の 基本目標の一つとして挙げら しごと創生総合戦略の5 GIGA スクール構想 高速通信ネット 第2期三木町まち・ 「コミュニテ ワー A ス ク ー 「部活動 説明を受 は、 ク \Diamond ٤ つの لح 施

備等 より、 置 境整備は、 対応などを行うための体制 ットワー クー 備えたパソコンに更新する。 境の変化に十分対応できるよ 大きく変化している。 とともに、 想により、 が行われている。 高速通信ネットワー 続的にサポー 方法や作成する教材・ アップグレード・ し、 は、 狀況 けており、 GIGAスクールサポ また、 より高性能なスペックを ク機器の機能強化として、 0 運営支援センター Ι 今年度からGIGAス 大容量かつ高速な通 は の G I G クの一 CT運用支援 ルプデスクの Ι 教員の情報収集 授業の形が変わ 学校の基幹ネット 令 C 和2年 トしていく。 Τ ICT活用を 斉点検 Aスクー 教育環 更新 今年度の環 - ク整備 度 教育環 ずる。 **(•** 応急 資料も P 開 の 境 を設 ータ 設 ル 0) ネ 構 を 準 0 る 整 信 内 に

問 小島委員

器導入は、 校内の基幹ネットワー コロナ対策として ク機

> 今後、 玉 ほとんどが国費での整 の 補助はあるか。 定年限で更新する際 一備だが、

教育総務課

助についての情報はない。 末の更新時期における国の 現 在、 今後のタブレ ツ \vdash 補 端

コミュニティ・スクール

る。 りしゃ、 る体験活動が充実してきて にとって、 「農業体験」等、子どもたち 成 深果は、 地元に 命の大切さに気付く さまざまな価値あ 地域 残る の方々 「ものづく 、から学

化が進む中、 なことや、 から、 携に向けた役割分担の 0) について、 発掘やサポー ていく必要があると考える。 題 は、 校内体制や地 今後も検討が 地域支援者の高齢 働き方改革 新たな地域 ター 募集を進 域 との あ . の 人材 必要 り方 視 連 点

問 市原委員

教員

の

負担

を軽減するとと

に、

競技経験のない部活動に係る

部活動指導

時

間 の

短 縮

や

学校ごとにどのようなビジ

徒 b

の

技

術 専

向 門

上 的

をめ 治指導

ざす によ

た る

生 8

の ョンを持って取り組んでいる か。

に、

外部

の

指導員を

配

する

Ð

。 の。

本年度予算の

業 置

費

は

教育長

る。 を行っていくことが重要であ 学校運営協議 の意見を聞きながら学校運営 学校長がビジョ 会の委員の方々 を持 ち

おり、

教員

指導経 経

験のない

顧問が50

3%を占

め

7

担当している部活動

0) 運

競 動

技経

導入背景として、

部

予算を計上している。

465万2千円

で、

5 事

人分

あるいは

運

)動 が

験

0

い 0)

部活 な



▲白山小学校コミュニティスクールで 行われた小麦「農林 26 号」の種まき

時間の軽減

がある。 教職員の

ることや、

超

過

勤

動で継続的な指導が困

「難にな 人事異 けな

という状況。

他にも、

動を指導しなければ

い な 験

施されている。

の配置は、

令和3年度

から

実 員

三木中学校の部活動

指

導

問 西丸委員

組まれているか。 部活動指導員の指導体制 は

教育総務課担当

部活動指導員配置促進事業

参加していただく予定。 等の対応や部活動のあり方に 活動指導員 ついて学ぶ機会となるため、 5 月 11 日に県におい 、研修があり、 て、 事 故 部

域の活性化のために働く地 おこし協力隊-(上限3 三木町でも、この制度を利 都 市 か ら地方に一定期 移り住 6 で、 域 地間

員になったのは、 の芳田裕美さん(36歳) 三木町初の地域おこし協力隊 踏み切った。 用して令和3年7月、 で建築設計事務所に勤務後、 大学で建築を学び、 公募に応えて、 大阪府出身 導入に 大阪 0

都会過ぎず、

募し、 か カフェの運営などを経験 「三木町の暮らしやすさに惹 れ 採用された。 地域おこし協力隊に応

温かみがある。 隣同士が助け合う地域の人に に戸惑ったが、 最初は、虫の多さや方言 田舎過ぎず、 毎日が新鮮で、

> この 京 14 ・ ペ 声 センターに配布した。 『移住のしおり』(B5判、 ページ)を発行、 をまとめたガイドブック 大阪事務所や就職 年間の経験を活か ほ ど、 住環境や移住者 県の東 がして、 移 住

三木町の生活や移住の仕方、

さん。 という芳田 住み良い」

イベントを 女性と交流 育て世代の 真を活かし で若者や子 趣味の写 S N S

いる。 発信している。今年5月には、 の自然や農村の暮らしを情報 企画したり、 の成果に で農村カフェ「いこい」をオ 香川大学の学生団体が、小蓑 プンした時にも協力し、 町の期待も高まって 白山 1 • 嶽山 「など そ

進と、空き家を活用して交 現在の目標は、 「移住定住

流の場にしたい」という。

地域おこし協力隊導入一年

大阪府出身の芳田さん

移住後の変化、子育てサポ い トなど移住者目線で紹 しを描きますか」。 いこと、あなたはどんな暮ら 「やりたいこと、大切にした る。 平成26年、三木町で移住 キャッチフレ ーズは 介し

て

来の移住者は、 住促進事業がスタートして 令和3年度で約6, 000人に増 延べ20家族 国は、 0 全国 令 和 0 以 定

す目標を掲げている。 6年度に8, で活動しており、 人の地域おこし協力隊が



▲取材に出かける芳田さん

三木茂博士記念資料館を守る会」 会長 佐々木 信行

うになった。 訪れることができるよ され、一般に人が自由に 園、石碑、資料館が整備 れ、生家跡には、記念公 ての太古の森が復元さ て、地元に自然公園とし 績を顕彰する一端とし 成5年)には、博士の業 価され、1993年(平 は時代とともに高く評 はじめとするその業績 メタセコイアの発見を 研究で多岐にわたるが、 ご専門は、水湿地植物の 鹿庭にある。三木博士の 者として知られる三木 茂博士の生家は三木町 メタセコイアの発見

誕120周年、メタセコ 和3年)は三木茂博士生 昨年の2021年(令

> 発足した。 ざまな行事が開催され われ、資料館を守る会が たが、前年の2020年 すべき年にあたり、さま に、地元に呼びかけが行 イア命名8周年の記念

も行っている。 会は合流して、毎月第 や時折、野外講演会など ルされた資料館の公開 活動を行い、リニューア 日曜日の午後より清掃 の会が結成され、二つの 市のメタセコイア愛好 ともに、メタセコイア友 家により、絵本の作成と 時を同じくして、高松

れ、修復事業が計画され にかなりの痛みが見ら に晒され、外壁や柱など 資料館は長年の風雪

> り、 まろうとしている。 方々のご尽力、ご協力によ れ、いよいよ修復工事が始 め、県内、県外の有志の たが、この度、地元をはじ 真心の寄金が届けら





お気軽に議会を

制限を設ける場合があります。 ルス感染症予防のため、 人です。なお、新型コロナウイ本会議の傍聴人の定員は、30

お問い合わせは、議会事務局へ 次の定例会は、 087 (891) 3311 9月上旬の

予定です。

部活動の発展が地域の発展に は難し、予算をたくさん付け 地域スポーツへ」との考えを 積している。 ラス思考で乗り超えたい。 つながる予感もしてくる。プ ても簡単ではない。しかし、 示している。言うは易く行う 機や地方予選の対戦相手不在 は少子化によりチーム存続危 による時間制限等、 機的状況にある。団体競技で スポーツ庁は また、先生の働き方改革 全国の中学校部活動が危 「部活動を 問題は山

議会だよりは私たちが

傍聴しませんか

同同同同同同 同 同副委員長 編集委員長 委員 委員 鈴木 安部 小島 宏明 晃 重

委員

森本

委員 委員 委員

安西

香川県木田郡三木町大字氷上310編集 議会広報編集委員会

編

集

を

18